

令和6年度 瑞穂市退職者辞令交付式 市長あいさつ

皆さん、おはようございます。早いもので3月31日退職辞令交付を迎えてしまいました。3月は別れの月とも言われます。人生は出会いがあれば、別れも必ずあると言われていますが、そのとおりです。

本日をもって瑞穂市から離れる、退職される皆さん、勤務期間の長い、短いがありますが、瑞穂市の発展に貢献をしてくださり感謝とお礼申し上げます。退職されるすべての皆さんにあてはまる、お礼のごあいさつは、難しいものですが、感謝の気持ちを汲んでいただければと思います。定年退職を迎える職員ですと大学を卒業して38年近くになるかと思いますが、それぞれのその時々、その時代に応じた仕事で、まちづくりを支えていただきました。私も職員時代から苦楽をともに、奥さんよりも知っている期間は長い人もいますが、一人ひとりの顔をみていると、次から次へと思いが浮かんできます。

振り返ると、皆さんが勤務した期間は、何か激動の時代予想もできなかったことのように思えます。旧穂積町、旧巢南町が瑞穂市に。パソコン、携帯電話のない時代からAIの時代に、バブルの時代が一転して低成長時代になり、現在の物価高騰に時代に。阪神・淡路大震災、東日本大震災、さらに能登半島地震、人口減少社会、温暖化による豪雨災害や大型台風、2年前には新型コロナウイルス等、前例のないことに振り回されました。

その時、その時に気概をもってやってもらったと思います。いくら感謝しても尽きないものですが、瑞穂市民の生活と福祉の向上のためにご尽力した皆さまに感謝とお礼を表します。また、皆さんを支えてこられた家族の皆さんにも感謝を申し上げます。

明日、4月1日からそれぞれの進む道は異なります。退職されるかた、転職される方、県、県教委、羽島市に復帰される職員、派遣される職員、それぞれの新しいスタートや、第二の人生を送ることになりますが、瑞穂市役所で経験したことに自信をもち、培った力を発揮して活躍してください。みなさんといっしょに仕事ができたことをうれしく思います

ご活躍とご健勝をご祈念いたしましてあいさつとさせていただきます。皆さんには、これからも瑞穂市の発展のために、できることをそれぞれの立場でお願いできたらと思います。なごりは尽きませんが本当にお世話なり、ありがとうございました。